

基本情報

所属	現代ビジネス学部 地域経済学科	氏名	木下 温子 Kinoshita Atsuko
職名	助教	E-mail	a-kinoshita@cb.kiu.ac.jp
		研究者ウェブサイト	

■ 学歴・取得学位

1996(平成8年)年3月	福岡大学体育学部体育学科卒業 体育学士
2011(平成23年)年3月	福岡大学大学院スポーツ健康科学研究科博士課程 前期終了 修士(スポーツ健康科学)

■ 主な職歴

1996(平成8年)年4月	福岡大学体育学部 副手
1998(平成10年)年4月	杉循環器内科病院リハビリテーション科 助手
2002(平成14年)年4月	南川整形外科病院リハビリテーション科 理学療法士
2010(平成22年)年4月	福岡市立福岡女子高等学校保健体育 非常勤講師(平成23年3月まで)
2010(平成22年)年4月	福岡医健専門学校 非常勤講師(平成23年3月まで)
2011(平成23年)年4月	福岡大学スポーツ科学部 助教(平成26年3月まで)
2014(平成26年)年4月	九州国際経済大学 助教(現在に至る)
2016(平成28年)年4月	九州共立大学スポーツ学部 非常勤講師(現在に至る)
2018(平成30年)年4月	九州産業大学人間科学部 非常勤講師(現在に至る)
2018(平成30年)年9月	福岡大学スポーツ科学部 非常勤講師(平成31年3月まで)

教育活動

■ 主な担当授業科目

○ 学部: スポーツ実技、発育発達学、スポーツ経営学、 イベントプランニング、健康科学、サッカー、専門演習、卒業研究
○ 大学院:

■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材:
○ 教育活動: 「なでしこひろば」開催を通じ、スポーツ(サッカー)教室の企画・運営・広報活動を実践。また、JICA九州研修員への参加呼びかけにより、英語によるポスター作成、外国語でのコミュニケーションを図る機会を作っている。その他、「グラウンドゴルフ」開催企画を通じ、近隣の老人会、地域団体など地域住民との繋がり、コミュニケーションを図り、スポーツを楽しみつつ、地域性や地域における

課題や問題点を抽出している。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大予防により、活動に制限がかかったため、新たな取り組みとして「JFA チャレンジゲーム」を取り入れ、個人参加できるサッカーのスキルアップを図るための検定事業を申請し、オープン検定のチームとして承認を受けた。また、高齢者向けには大学界隈にウォーキングコースを設定し、個人での健康維持増進の取り組みができるようにと進めてきた。実際に距離の測定をする際に2度目の緊急事態宣言になったため、コース設定までは進まなかったが、コースに面する大学敷地の荒地を除草作業し、花や球根の植え付けを行ったことで、現在は花の見ごろを迎えている。また、ウォーキングコースの景観を保つための地域の清掃活動は非公式で行っていたが、JICA九州と協力して活動することとなり、八幡の日として「8」のつく日には清掃活動を始めたところである。

○免許・資格:

理学療法士、保健体育中・高一種免許、(公財)日本サッカー協会公認サッカー2級審判員、(公財)日本サッカー協会フットサル4級審判員、(公財)日本サッカー協会公認サッカー審判3級インストラクター、(公財)日本サッカー協会B級コーチ、(公財)日本サッカー協会キッズリーダー、(公財)日本サッカー協会JFAマッチコミッショナー、(公財)日本スポーツクラブ協会スポーツクラブマネージャー、(公財)日本体育協会公認アシスタントマネージャー、(公財)日本レクリエーション協会レクリエーション・インストラクター、(NPO)オーソテックソサエティー公認フットケアトレーナーライセンスC、赤十字ベーシックライフサポーター、赤十字救急法救急員、(一社)スポーツリズムトレーニング協会DIFFUSER)、健康管理士一般指導員(健康管理能力検定1級)

研究活動

■ 研究分野

研究分野	スポーツ医学
主な研究テーマ	サッカー
キーワード	

■ 主な著書・論文等

著書
○
論文
○「大学サッカー選手 の疲労部位と動きの異常との関連～M-Test を用いた検討～」(単著)、福岡大学スポーツ科学研究、2011年3月
○「九州レディースサッカー大会に出場した選手におけるサッカーへのかかわりについての調査」(単著)九州国際大学教養学会教養研究、第24巻第3号、2018年2月
○「大学サッカー選手がかぜ症状から回復に時間を要した4症例—コンディショニング管理への応用—」(単著)九州国際大学教養研究、第27巻第1号、2020年7月
○「九州国際大学トレーニングルームの利用状況と課題」(共著)九州国際大学教養研究第27巻第2号、2020年12月
学会発表
○「男子サッカー選手の疲労部位と動きの異常との関連～M-Test を用いた検討～」、日本フットボール学会、2010年12月、於:立教大学
○「女子サッカー選手のサッカーシューズと足部の傷害」、九州・山口スポーツ医・科

学研究会、2012年12月、於:福岡大学
その他

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

--

■ 主な所属学会

日本理学療法士会、福岡県理学療法士会、日本体育学会

■ 受賞等

--

■ 研究助成金による研究

○

社会における活動等

<p>○(一財)全日本大学女子サッカー連盟理事(2012年～現在に至る)</p> <p>○(公社)福岡県サッカー協会理事(2008年～現在に至る)</p> <p>○福岡県女子サッカー連盟委員長(2010年～現在に至る)</p> <p>○福岡市サッカー協会理事(2008年～現在に至る)</p> <p>○北九州サッカー協会特任理事(2014年～現在に至る)</p> <p>○福岡県国体サッカー女子主務(2011年～2013年) 副務・トレーナー(2014年～2015年)</p> <p>○(公財)日本サッカー協会2級審判員として審判活動(1999年～現在に至る)</p> <p>○(公財)日本サッカー協会新規4級審判講習会講師(2014年～現在は、新型コロナウイルスにより、eラーニングとなり、休止中)</p> <p>○(公財)日本サッカー協会3級審判インストラクター(2014年～現在に至る)</p> <p>○北九州市民カレッジ講師(2015年1月、2020年1月) 穴生学舎シニアカレッジ講師(2016年3月)</p> <p>○市民総合スポーツ大会福岡市長杯女子サッカー大会 企画・運営(2008年～現在に至る)</p> <p>○九州ブロック国体審判派遣(2017年7月～2019年8月)</p> <p>○国民体育大会サッカー競技視察(2017年10月～2018年10月)</p> <p>○大学女子サッカー地域対抗戦コーチ(2012、2017年)監督(2013年～2016)、</p> <p>○JFAレディース/ガールズサッカーフェスティバル 企画・運営(2011年～、2020年3月新型コロナ、2021年荒天により中止)</p> <p>○(公財)日本サッカー協会 JFA マッチコミッショナー(2018年～)</p> <p>○(一財)全日本大学女子サッカー連盟審判部 地域対抗戦による学生審判員 発掘・育成・強化事業(2019年2月～、2020年2月、2021年2月新型コロナにより中止)</p> <p>○(公財)日本サッカー協会女子サッカーレガシープログラムin福岡 責任者(2019年8月)</p> <p>○九州地区学生指導研究集会 事例発表(2019年9月)</p>
--

- JFAnews 蹴球通信(2019年11月号掲載)
- MS&ADカップ2019北九州 なでしこジャパン vs 南アフリカ 運営
- (公財)日本サッカー協会「第1回第2回47都道府県女子審判員に関する意見交換会(テーマ:普及、育成)(2020年11月、12月)
- JFA普及コーディネーター(2020年12月～)
- ギラヴァンツ北九州「サッカーを活用した体カづくり講座」講師(2021年1月)
- (公財)日本サッカー協会「JFA女子サッカーデー」責任者(2021年2月)
- SAISON CARD CUP2021国際親善試合 U-24日本vsU-24アルゼンチン 運営補助員(2021年3月)

大学運営活動等

- 就職対策委員(2014年4月～2017年3月)
- 体育会サッカー部女子監督(2014年4月～2016年3月)
- 体育会サッカー部顧問(2017年4月～)
- 保健委員(2017年4月～)
- ホームページ委員(2017年4月～2018年3月)
- 研究活動助成委員会(2018年4月～2021年3月)
- 安全衛生委員会(2018年4月～)
- 社会文化研究委員会委員(2020年10月～2021年3月)